

高齢者がもつ救急搬送時の不安を解消するために シニアセキュリティ顧客に「救急医療情報ノート」の提供を開始

東急セキュリティ株式会社

東急セキュリティ株式会社(本社:東京都渋谷区、社長:波戸 覺)では、2009年9月21日(月)の敬老の日より、高齢者専用緊急時駆けつけサービス「シニアセキュリティ」契約顧客に対して、「救急医療情報ノート」の提供を開始いたします。救急医療情報ノートとは、救急搬送時における適切な処置に役立つ医療情報を正確に伝える「家族の代弁者」の役割を果たすものです。

シニアセキュリティは、少子高齢化の進展による独居高齢者の増加が顕著であるのに伴い、2008年10月より提供を開始した、「住み慣れた街、住み慣れた家に住み続けたい」という東急線沿線に在住の皆様のニーズに応えた、駆け付け型緊急通報・安否確認・健康相談・コンシェルジュによる定期訪問を組み合わせたシニア専用サービスです。

サービス開始以来、顧客より、「万が一の時に、警備員が駆けつけて救急車を呼んでもらっても、どこの病院に搬送されるか分からないから不安」「倒れて意識を失い話ができない状態の時も、救急隊員などに既往歴や緊急連絡先を伝えたい」「万が一の時に、家族へ伝言を残しておきたい」といった多くの声をいただいております。

こうした要望に応え、救急医療情報ノートの提供を行うことにいたしました。

作成にあたっては、消防署、救急隊員からもアドバイスを受け、救急隊員が行う応急処置に役立つよう、かかりつけ医や持病などの医療情報や健康保険証の写し、緊急連絡先、家族への伝言などの情報をノートに記載する形としました。記入時には、適切な情報が記載できるよう当社担当がサポートいたします。

ご家族への伝言など、他人に見られたくない重要な情報を書き込むページは、閲覧できないよう封印できる仕組みになっております。また、専用のケースに入れ、自宅の所定の場所に保管し、あらかじめ当社にて保管場所を記録しておくことで、個人情報保護に配慮するとともに、万が一の際に即座に対応することが可能となります。

一般に販売されている書き込み式の緊急ノートと異なるのは、シニアセキュリティと組み合わせることによって、万が一の際に警備員が駆け付けて引き渡し、あるいは当社管制センターが消防に対してノートの保管場所を知らせることにより、緊急時の迅速な対応に役立てることが可能となります。

シニアセキュリティ契約顧客に更なる安心を提供できるだけでなく、救急車の不正利用が社会問題になっている中、搬送時に家族の連絡先を探すなどの救急隊員の現場での負担を軽減することができます。

シニアセキュリティは、今後も東急線沿線に密着して展開する当社ならではのきめ細やかなサービスを提供し、多様な顧客ニーズに応え、進化し続けてまいります。

救急医療情報ノートの概要

提供開始日

2009年9月21日(月)

提供対象

当社が提供するシニアセキュリティの契約者

救急医療情報ノートの構成

(1) 救急医療情報ノート

- ・ご本人様、緊急連絡先情報記載欄
- ・かかりつけ病院情報記載欄
- ・既往歴、服薬情報記載欄
- ・家族、親族への伝言記載欄 等

(2) 救急医療情報ノート専用ケース

